

明石に来る人、住む人に「多幸」あれ。
Vol.2 2019-20 Autumn-Winter

季刊

ひるあみ



自転車でゆつくり、西へ。

豪商と港町二見 街道と窪地「天久保」

久しぶりに、プラネタリウムへ行きませんか。

季刊 ひるあみ 2019年9月27日発行

発行：(社)明石観光協会 明石市東仲ノ町6-1 アスピア明石北館7階
編集：140B 無料 Printed in Japan

明石市制施行100周年記念事業



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。



ご当地グルメでまちおこしの祭典!

日本全国から55団体が明石に集結!

みんなで作る やさしい B-1グランプリ!

提供料理の購入には専用チケットが必要です。
※現金及び現金併用での料理の購入はできません。
※チケットは2019年10月上旬販売予定です。

イラスト：そやままい

2019 11/23(土)24(日) 開催時間●9:30~15:30
会場●兵庫県立明石公園、明石市役所周辺

みんなで作る やさしいB-1グランプリ!

◎チケット情報や当日の混雑状況など詳しくはこちら

B-1グランプリ明石 検索 <https://www.b-1akashi.jp/>



HPはこちらのQRコードからでもアクセスできます!

当日、会場周辺は交通規制のため、大渋滞となります。また来場者用駐車場はありません。
会場へは、公共交通機関を使ってください。

主催/B-1グランプリ明石実行委員会 ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会(通称:愛Bリーグ)
お問い合わせ/B-1グランプリ明石実行委員会事務局TEL.078-918-5280



5

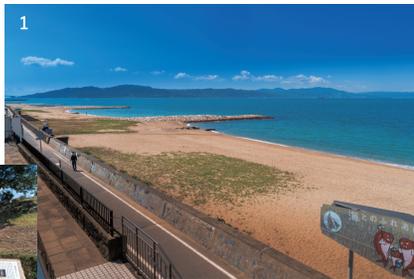


4



3

1.淡路島の西側が横長に姿を見せ、気持ちのよい風を受けながらペダルを漕いで西へ 2.八木遺跡公園の近くにあるアカシゾウ発掘地。「温暖な気候、海洋の恵みと交通など、明石は太古から発展してきた地なんです」と利久さん 3.住吉神社のご神木、トウカエデ「連理の枝」。たしかに説得力あります 4.大阪の住吉大社も羨む海辺の鳥居 5.「魚住」という書体がシブい瓦工場の煉瓦の煙突



1



2

秋は、 自転車 で西へ。

うだる暑さの中では外出も億劫だったけど、涼しくなると途端にどこかへ行きたくなる。歩くのも楽しいが、自転車ならちよっと遠出もできる。自然と足が西に向きました。

取材・文 郡麻江 写真 内池秀人



今回の案内人「ぶらり子午線観光ガイド連絡会」の名物ガイド、山本利久さん。通常は徒歩での案内だが、今回は特別に自転車でも走ってもらった。取材陣はJR西明石駅東口でレンタサイクル「駅リンクン」を借り、利久さんは自慢のクロスバイクで参加。キマってます。

海ぎわを走って豪商の街へ。

浜の散歩道〜二見コース

明石川にかかる大観橋西詰から南西へ、播磨灘に沿って「高砂道」と呼ばれる旧街道がずっと延びている。さらにその南側、江井島までの約7km

の海岸線には「浜の散歩道」という歩行者・自転車専用道がある。両者を使い分け、海を間近に二見を目指す贅沢な道のりだ。

途中には、アカシゾウ発掘地や明石原人腰骨発見地などが点在する。何万年も前の骨と言われてもなかなかピンとこないが、有史以前から人の営みがあったというのは凄いことだ。どこまでも青く美しい屏風ヶ浦海岸や江井島を通り過ぎ、海の神さまを祀る住吉神社へ。境内の御神木トウカエデの「連理の枝」は、縁結びにご利益があるそうなので、忘れずに。

さらに西へ。シバタ工業の工場敷地内なのに公道という不思議な小道を通り、牡丹の名所・薬師院から住宅地へ抜けると、突然、レンガ造りの瓦工場の煙突が現れた。周辺は昭和40年代までは瓦の産地として栄え、いくつもの工場があった。当時を偲ぶ貴重な遺構だ。

北前船と港と豪商と。

二見港は幕末の安政5年（1858）に完成。北前船が物資を運び、港町として繁栄した。長い塀が続くお屋敷には豪商の子孫が住んでいる。その一つ、立派な商家の佇まいをそのままに残すのが増本家だ。江戸期に肥料販売で栄え、開港後は廻船問屋に。18世紀後半に建てられた木造厨子二階建妻入の主屋には、当時の面影が色濃く残る。「手前の建物は船頭部屋でした。



8



6



7

6.二見のお屋敷敷街に到着 7.外観では豪商邸と分かりにくい 8.玄関に入ると、広さと天井の高さに驚く 9.子どもの頃の思い出話も聞かせてくれた増本光平さん 10.江戸期の消火器・竜吐水（りゅうどすい）。上部に天秤棒を差し、交互に押して放水。「ヤマサ」は増本家の称号



10



9

3

2



15



14



13



12



11

11.築約200年の尾上家 12.奥様の富子さんが出迎えてくれた 13.「兵庫県播磨二見」だけで届くんだから凄い 14.地元の人たちはこの「二九番」から電話をかけていた 15.小さなお庭がいくつもある

見学した後はゴクんと。

二見の人工島にあるアサヒ飲料明石工場では、缶コーヒーやお茶のペットボトルの製造ラインを分かりやすくフレンドリーな案内で見学できる。三ツ矢サイダーの歴史を学ぶ部屋やオリジナル商品を販売するギフトショップも併設している。



CO₂を排出する設備を整えた最新のエコロジー工場。見学希望者は明石工場のホームページ、または☎078-941-2309まで。



※増本家・尾上家(共に明石市の都市景観形成重要建築物)は現在もお住まいの住宅ですが、取材のため特別に内部を公開していただきました。公開については明石観光協会までお問い合わせください。☎078-918-5080

跡は昔の勝手口だろうか。「ここだけ異次元の空間でしよう?」利久さんがポツリとつぶやいた。煉瓦のアーチを境に過去と現在が行き来し、時空を超えた不思議な空間がぼっかり広がっているように思える。

港に近づくとも潮の香りが増してくる。突然、視界が開け、青い海に架かる巨大なアーチ型の東二見橋が出現した。橋の向こうは二見の人工島。さまざまな企業の旗艦工場や生産・物流の拠点で占められている。その企業のロゴが描かれたトラックが何台も橋の上を通り過ぎる。港の北側は、江戸から明治、大正昭和、平成、そして令和と歴史を繋いできた二見の古い街並みが広がり、対岸には近代的な人工島風景が広がっていた。

豪商の屋敷街から細い道をくねくねとしばらく走ると、美しい赤煉瓦塀が続く「二見横河公園」にたどり着く。横河電機発祥の地で、ここに一族の屋敷があった。高台にあるため港がくつきりと見渡せる。風にさわさわと草が揺れ、ひっそりと静かだが、煉瓦の美しい塀が豪華な屋敷を偲ぼせる。アーチ型の門の

時空のエアポケットにハマる。

「ここを引き継ぐ者もないので、私の代でこの家の役目も終わりがなと考えているんです」。この家で暮らす尾上富子さんが、控えめに何度も話される姿が印象的だった。文政時代の技と粋と贅を凝らした、二度と建てられない貴重な建築物は文化遺産としてなんとか残していったほしいものだが。

井の客間をはじめ二つの蔵、建物を繋ぐいくつもの庭など、初めて訪れた人なら間違いない迷う広さだ。

祖母が小さかった頃、船頭さんたちが酒盛りをしている様子が見えたそうです(笑)と話すのは25代目当主の増本光平さん。阪神大震災前は、お奉行を迎える御成門までが残っていた。増本家のすぐ近くには、同じく豪商だった尾上家の屋敷がある。干鰯(ほしいわ)という鰯の魚粉からつくる綿花栽培の肥料を北海道から北前船で仕入れ、それを広く販売する事業で繁盛した。入り口すぐの見世の間には、当時の帳場があり、古い大福帳や手紙、印鑑などが大切に残されている。屋内には豪華な格天井の客間をはじめ二つの蔵、建物を繋ぐいくつもの庭など、初めて訪れた人なら間違いない迷う広さだ。

16・17.二見横河記念公園。1986年に横河家から明石市に寄付。大実業家・横河民輔の孫娘の横河英は戦前、屋敷と庭園を開放して「コドモのお里」を開園 18.かつて日本画家の橋本関雪が住んでいた「白沙荘」も近くに 19.東二見橋の上から。「二見港と周辺」は「わがまち明石十景」の一つだ 20.二見横河公園から東二見駅に行く途中にあるお好み焼き屋さん。明治期の長屋で営業。ええ感じですよ 21.帰りに寄りたい、名物ママ春田朱美さんの「浜小町」。家庭料理と魚介&肉の鉄板メニュー。冬はママが仕留めたジビエが食べられる ☎078-941-3722



21



19



20



17



18



16



5.大久保の「窪」へと下る。なんともいえず良い風情がある。道幅の狭さもいい 6.立派なお屋敷が並び辺りは本陣だった。本陣の安藤家、脇陣の橋本家、それぞれ子孫が暮らしている 7.JR山陽本線の下をくぐる、明治21年(1888)に造られた煉瓦の隧道 8.往時はさぞかし華やかだったろう。街道の顔としてこの先も建っていてほしいものだ



1.明石市民の水郷である野々池。遠くに淡路島が見える 2.池の北側にある「林崎堀割渠記碑」。堀割は万治元年(1658)完成。左奥の堀割から明石川の水が流れる 3.野々池貯水池の北西側。西明石駅から自転車で10分ほどだがこの田園地帯 4.高さ4mはある神戸刑務所の塀。中側はしんと静かだった



西明石く大久保コース

旧街道、洋館、名刹の大きな窪地

「晴れの日が多い土地」には水の恵みに苦勞した歴史がある。古くから農作地帯だった大久保一帯は、この地特有の干ばつに悩まされた。それで17世紀半ばに代官や庄屋が中心となって、近くを流れる明石川から水を引くために「林崎堀割」を完成させ、田畑を潤していった。野々池貯水池北側にはその功績を讃える石碑が残る。ここから神戸刑務所を横目に西国街道に入った。

洋館にせつなくなるもお鮎で回復。

旧街道を大久保方面へと向かう。ずーっと下って、しばらく行くとまた上り。「土地全体が大きな窪地だったことから、大久保と呼ばれるようになったそうです」と利久さん。「底」まで下り、また上りに。上がりきった辺りで利久さんが指さす方にクラシカルな洋館が!? 鱗のような瓦屋根、丸窓、バルコニー……地元出身の有力者・安藤新太郎氏が大正7年(1918)に建てた邸宅だったが、竣工後まもなく主が急逝。その後は誰もこの屋敷に住むことなく、現在に。「安藤氏の葬儀に使われて、あとは無人だったようです」。威厳のある外観が街道風景に馴染んでいて、同じ敷地の南西部分には「明治天皇御小休所建物」

もあり、洋館前にそれを示す石碑が立っている。

JR大久保駅にほど近い「鮮 廣嶋」。家族で切り盛りする地元根づいた名店だ。清々しいカウンターの向こうで、廣嶋道特さんと息子の敏明さん親子がきびきびと仕事に励む。明石の「まえもん」を中心に、一工夫加えた鮎が頃合いを見計らって次々と……。お客さんの層も幅広く、途切れることがない。

表紙に描かれたあのお寺は……

浄土真宗興正派の光觸寺は、大久保駅から少し山手にある。源氏の武将・佐々木義清が後に出家して寿信となり、寺を開いたと伝わる。姫路城主・池田輝政から寄進され、左甚五郎が墓股を制作したと伝わる薬医門や、境内には秀吉が馬をつないで休めたという「太閤駒留り松」の切り株など見どころが多い。本堂は格天井の壮麗さに驚く。さらに欄間の彫り物に思わず息を飲んだ。美しい天女たちが楽器を手に天空を漂っているように見えるが、その足元は鳥の足。迦陵頻たちが天を舞っているのだ。優美な彫刻の美しさにしばし心を打たれた。太鼓楼(表紙)や鐘楼からも寺格の高さが伺い知れる。

旅の終わりに地元「御菓子処 朝日堂」にたどり着いた。甘いもの好きな利久さんのお薦めは、焼きたてのみたらし団子。香ばしく焼きあがり、柔らかくモチモチ食感の団子に、上品な蜜がとろろり。疲れた体に優しい甘味がしみわたっていった。

9.[鮮 廣嶋]屋の上にぎり1,730円(税込)。明石鯛のちりポン酢、イカはすだちと岩塩で、すだち皮と岩塩を添えた炙り鰻……
10.質、量、もてなし、空感。どれもが満足を与えてくれる。☎078-936-0303

11.薬医門。境内は常時拝観可能ではないが、事前に申し込んでおけば案内もしてくれる
12.薬医門に彫られた左甚五郎作と伝わる墓股。龍の迫力に圧倒される
13.太閤駒留り松。秀吉好きは必須
14.本堂の欄間に彫られた迦陵頻。見事だが、気の遠くなるような職人仕事
15.25代住職の佐々木釈良知さん。「開祖と伝わる佐々木義清と寿信は別人だったとも言われています」
16.[朝日堂]みたらし団子の弾力と柔らかさが別格。5本350円。☎078-935-2020



「久しぶりだと思えますが、今行くとなんかに発見できるものがあるのでは」編集の人からお話があり、記憶喪失を思い出す旅のように、某日、明石の地に降り立った。科学館はかれこれウソ十年ぶりの訪問だけど、なんと大雨。大きな時計塔を目印に向かいました。

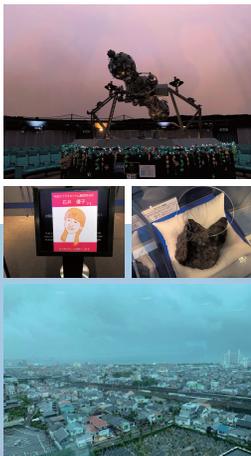
プラネタリウムは一期一会ライブ。

天井がドーム型になった空間は、真ん中にカールツァイス・イエナ社製(旧東ドイツ)の投影機、その周りを囲むように椅子が並びます。日本国内で現役最古、世界でも5番目に古い現役大型投影機なのだろう。数年に一度、ドイツからメンテに來られ、今も大切に使われています。館長の井上毅さんが説明してくれました。「イエナには3ついいところがあって、1つ目は速く動かすと壊れる(！)ゆっくり動かすことにかけては世界屈指です。2つ目はその大きさ。座る位置によっては星

いい歳の大人になったから!? 改めて知った プラネタリウム。

取材・写真 いたみほ

空を隠してしまうほどですが、その存在感がいいとマニアには喜ばれています。3つ目は最新機器独特の機械音がなく静かなこと。快眠に最適です！寝てもいいんですか!? 館長は事もなげに「どれだけ快眠してもらおうかが



上/1960年生まれのご長寿。「最新機材で投影する星がLEDの明かりだとすると、イエナで投影する星はローソクの明かりという感じでしようか」びっぴりの例えです 中右/空から落ちてきた隕石に触ることができたり…… 中左/入り口には解説担当の石井優子さんの似顔絵。似てます! 下/展望台の上ってみたら360度の明石市街のパノラマビューが待っていました

僕らの腕の見せどころですからね!」。

プラネタリウムのナレーションは、ライブだこの時知りました。学芸員らの専門職の方が、1日5回、投影の都度解説を行っているというのにはちょっと衝撃で、星の動きや夕焼けの調整それに合わせてのBGMのキューの合図なども自らが指示するとか。

わたしが見たのは、学芸員・石井優子さんの回。柔らかな声で、丁寧で分かりやすくてリラックス〜でも、ま、險が重くなってくる。そんな葛藤(大層ですが)と闘いながらも、外の雨を完全に忘れさせてくれる満天の

星に感動したのでありました。
子午線周りの寄り道も。

プラネタリウムの後は、科学館から5分ほど歩いて大きなスノーピールのぬいぐるみが目印のカフェへ。住田早苗さんの作る日替わりランチ1050円や娘のさやかさんの作るスイーツは、どちらも材料を厳選して大人気。特に三重県の平飼卵を使用したオムライスとシフォンケーキは絶品でした。帰る途中、子午線上の郵便局で可愛い消印を押してもらい、天文科学館のミニチュアのような形をした子午線交

番の前を通って明石駅へ。しかしながら、ウソ十年前の記憶は甦ることなく(汗)。逆にすごく新鮮な気持ちでプラネタリウムを観賞しました。大人になってもミステリアスでロマンチックな星空っていいなあ、と非日常空間でリラックスしていたけれど、星空は、いつも毎日わたしの頭上にあるのだ、満天の星空は日常のものなんだなああと、改めてじわりと感動したのでした。



上/神戸市北区産のししゆずのピールが爽やかなシフォンケーキ。ドリンク付き700円 右下/りんごの形が映える、季節限定焼きたてアップルパイは紅玉のほどよい酸味と歯ごたえが絶妙。ドリンク付き850円 左下/卵2個を使ったふわとろオムライス。サラダ&スープ、ドリンク付きで1,260円

cafe+cake chiffon
●明石市太寺2-11-20
☎078-917-3608 10:00~19:30
(L.O.18:00) 日・月曜休



右/明石子午線郵便局。右の線をまたいで入ろう 左/これは風景印として記念に押しもらったが、消印として郵送も可

明石市立天文科学館
●明石市人丸町2-6
☎078-919-5000
9:30~17:00(～16:30入館)
月曜・第2火曜・年末年始休
◆10/19(土)～12/8(日)
特別展「ユニバーサルデザイン展
～やさしい天文展示～」
◆12/14(土)～2020/1/26(日)
特別展「2020年全国カレンダー展」
◆2020/2/1(土)～4/5(日)
特別展「マンホール(地上の星)展」

東京・築地の「明石町」 ルーツはわが明石？

「ひるあみ」読者と明石をつなぐQ&Aコーナー「アカシのト」。第2回は東京都中央区に住む・Sさん(30代男性・元明石市民)の質問です。

「**築地明石町**は明石と関係あり？」

……シブい質問ですね。上村松園と並ぶ美人画の名手・錦木清方(1878~1972)は、明治初期~中期に神戸や横浜と並ぶエキゾチックな居留地であった当地(清方は近所に住んでいた)に対する憧憬を『築地明石町』という作品で表現しました。帝国美術院賞を受賞した清方の代表作。記念切手にも採用されました。



錦木清方『築地明石町』1927年/絹本彩色・軸装 74.0cm 東京国立近代美術館蔵品ギャラリー(10室)にC11.1(金)~12.15(日)公開

この名作、清方亡きあと行方が分からずだったのですが、今秋なんと44年ぶりに一般公開されること。絵に目がない明石好きはぜひともお江戸で実物を観て、帰りにその明石町にも寄ってください。

なぜ「明石町」と付いたのですか？

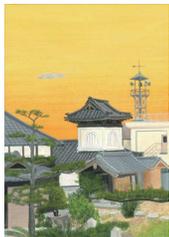
東京都中央区の地域資料室や地名辞典による

と、地名の由来は①かつて明石の漁師が移住した ②対岸の佃島からの眺めが淡路島から明石浦を望む風景と似ていた……ということですが、なぜ「明石から漁師が移住したのか」は不明です。お江戸から「漁の仕事を教えてほしい」と技術指導を頼まれたのかもしれませんが。

ちなみにこの明石町、聖路加国際病院・聖路加ガーデンをはじめ、ドラマ・映画ロケの超定番「隅田川テラス」はあるわ、慶應義塾・立教・明治学院・雙葉学園 暁星学園などの「発祥の地」が点在するわで、お江戸の中でも、セレブな地域。

ちなみに神戸市中央区にも「明石町」があり、大丸神戸店の半分以上と旧居留地の誰もが知るブランドの多くを占めています。「やっぱり名前がええからやね」明石好きは、イヤミにならない程度にこっそり自慢しましょう。

表紙のこぼし『光觸寺の太鼓楼』



JR大久保駅のぎざぎざから北に10分ほど歩くと、光觸寺があります。薬医門の梁には立派な龍の彫刻があり、それをくぐると正面に重厚な本堂が現れます。東側の太鼓楼は、ご住職のお話では江戸末期に建てられたそうです。周囲は路地や用水路、趣のある民家などが残っており、昔の大久保の姿が垣間見られました。本堂の階段に腰掛け、太鼓楼を眺めながら、昔の人は何を思い、時を告げる太鼓の音に耳を傾けていたのか……と思いを馳せました。(須飼秀和)

すがいひでかず 1977年明石市生まれ、現在も明石に住む。毎日新聞兵庫版に毎月1回「ひょうご 見つけたい風景」を連載。本人の手による明石の風景画ポストカードも人気。

季刊 ひるあみ Vol.2 秋冬号

2019年9月27日発行
発行=(一社)明石観光協会
明石市東仲ノ町6-1 アスピア明石北館7F
☎078-918-5080
表紙絵=須飼秀和
デザイン=山崎慎太郎
編集=140B
印刷=(株)神戸新聞総合印刷
※記事の情報は2019年8月30日現在のものです。

Information!

(一社)明石観光協会では一緒に明石を盛り上げてくださる会員(個人・団体)を募集しております。詳細は観光協会(☎078-918-5080)まで。

明石お出かけ日和

- ◆10/25(金)・26(土)
第2回西明石クルムフェス
-西明石駅前周辺
☎09010632115 876
☎09019989158 825
(同実行委員会)
- ◆11月上旬
明石まちなかバル
-明石駅前周辺
☎078191515201
(同実行委員会事務局)
- 【明石公園】
◆明石市明石公園1・27
◆9/21(土)~29(日)
2019ひょうごまちなみガーデンショー in 明石
-明石駅前広場でも開催
☎078191812405
(ひょうごまちなみガーデンショー実行委員会事務局)
- ◆9/28(土)
第23回明石新能
☎078191815085
(明石新能の会事務局)
- ◆9/29(日)
第4回明石能舞台コンサート
浜村淳&BIG BAND A&弦楽8重奏
- ◆10/25(金)・26(土)
第11回西明石クルムフェス
☎078191815085
(同実行委員会事務局)
- ◆10/12(土)・14(祝)
明石城まつり2019
☎078191217600
(公財)兵庫県園芸公園協会)
- ◆10/13(日)
第19回明石市午線どんとこいまつり
-あかし市民広場でも開催
☎078194717528
(同実行委員会事務局)
- ◆10/19(土)・11/11(月)
第91回明石公園菊花展覧会
☎078192416111
(花と緑の学習園)
- ◆10/20(日)
メリディアン・マーチングフェスタ2019
☎090588615117
(NPO法人 音づくり街づくり)
- ◆11/23(祝)・24(日)
第11回ご当地クルムでまちおこしの祭典!
B1クラブ in 明石
-明石市役所周辺でも開催
☎078191815280
(同実行委員会事務局)
- ◆12/21(土)
2020/2/2(日)
冬季特別展
明石市制施行100周年記念「138億光年宇宙の旅」
-驚異の美しさで迫る宇宙観測のフロンティア
- ◆12/21(土)
明石市制施行100周年記念「発掘された明石の至宝」(仮)

- 【明石市立文化博物館】
●明石市丸町2-13-1
☎078191815400
◆9/14(土)・10/20(日)
特別企画展
明石市制施行100周年記念 明石藩の世界VII
「城と明石の400年」
◆11/2(土)・12/8(日) 企画展
- ※詳細は各施設・主催者にお問い合わせください。
※10月上旬から下旬にかけて、明石市内の各地は秋祭りで賑わいます。勇壮な布田太鼓や神輿、獅子舞など地元の伝統行事に触れてみましょう。
☎078191815080 (一社)明石観光協会

